

平成30年度 芸術〔音楽〕

教科	芸術	科目	音楽 I	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	高校生の音楽 1 (教育芸術社)						
副教材等	高校生のための音楽研究ノート (教育芸術社)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・「歌唱」「器楽」「鑑賞」の3つの分野を年間通して学習します。
- ・のびのびとした美しい声での歌唱、ギターや箏等の新しい楽器の基礎技術の取得を目指し、アンサンブル等自由課題へ積極的に取り組み、音楽を楽しむことを目指します。
- ・学習の到達度は、実技テスト、筆記テスト、ワークシートの提出、出席等の平常点で評価します。
- ・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2 学習の到達目標

のびのびとした美しい声での歌唱、ギターや箏等の新しい楽器の基礎技術の取得を目指し、アンサンブル等自由課題へ積極的に取り組む姿勢を養う。音楽の幅広い活動を通して、基本的な技術を習得し、創造的な表現と鑑賞の能力を身につける。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 音楽への関心・意欲・態度	b: 音楽表現の創意工夫	c: 音楽表現の技能	d: 鑑賞能力
観 点 の 趣 旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表現している。	楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、味わって聴いている。お互いの演奏を聴き合い、評価しあう。
評 価 方 法	観察 ワークシート	観察 筆記テスト	演奏の聴取	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				題材の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 学期	のびやかな声で歌おう	〔歌唱〕 校歌 ホールニューワールド	○	○	○		a: 歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c: 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 演奏の聴取
	リズムアンサンブル	〔器楽〕 クラッピングカルテット第1番	○		○	○	a: アンサンブルに関心を持ち、コミュニケーションを取りながら演奏することに主体的に取り組もうとしている。 c: リズム譜を読譜し、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。 d: お互いの演奏を聴き合い、的確に評価する。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	器楽の基礎を身に付けよう	リコーダー 歌のないヨーデル 追憶 となりのトトロ	○	○	○		a: リコーダーの音色や奏法の特徴に関心を持ち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組んでいる。 b: 音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c: リコーダーの音色や奏法の特徴を生かした技能を身に付け、創造的に表している。	観察 演奏の聴取
2 学期	ハーモニーを味わおう	合唱 輝きながら	○	○	○		a: 曲想と文化的・歴史的背景との関わりに関心を持ち、合唱をする学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c: 曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、イメージをもって合唱するために必要な歌唱の技能（発声、言葉の発音、呼吸法、姿勢や身体の使い方）を身に付け、協力し合い創造的に表している。	観察 演奏の聴取

		器楽 ギター カントリーロード	○	○	○		a: ギターの基礎的な奏法の特徴に関心をもち、弾き語りで演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 旋律と和音の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら表現を工夫している。 c: 弾き語りするために必要なギターの基礎的な演奏技能を身に付け、創造的に表している。	観察 演奏の聴取
	日本の心を感じ取ろう	箏曲 さくら	○	○	○		a: 我が国の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴に関心をもち、主体的に取り組もうとしている。 b: 音楽を形づくっている要素を知覚、感受しながら、我が国の伝統音楽の特徴を理解して、表現を工夫 c: 箏曲の基礎的な技術を身につけ、創造的に表現している	観察
	鑑賞のステップアップ	鑑賞 組曲「展覧会の絵」	○			○	a: 管弦楽で扱われる楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート
3学期	アンサンブルを楽しもう	アンサンブル 自由課題	○	○	○		a: アンサンブルに関心をもち、コミュニケーションを取りながら演奏することに主体的に取り組もうとしている。 b: 旋律、リズム、速度など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、曲種に応じた表現を工夫し、どのように表現するかについて意図をもっている。 c: 表現したいことを伝えるための歌唱や器楽の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ハーモニーを味わって歌おう	合唱 コスモス(混声3部)	○	○	○		a: 曲想と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、合唱をする学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c: 曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、イメージをもって合唱するために必要な歌唱の技能(発声、言葉の発音、呼吸法、姿勢や身体の使い方)を身に付け、協力し合い創造的に表している。	観察 演奏の聴取

※ 表中の観点について a: 音楽への関心・意欲・態度 b: 音楽表現の創意工夫
c: 音楽表現の技能 d: 鑑賞の能力

※ 年間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容(題材)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。